



## 津山線事故復旧と吉備線LRT化の意外な関係

■国土交通省は、利用客減少で路線廃止が続く地方の公共交通を再生するため、地方独自の「総合交通戦略」を策定し、支援する新法を制定する方針を固め、今通常国会に提出する予定だ。また現在、全国路面電車ネットワークと国会LRT推進議員連盟では、今通常国会において、LRT(次世代型路面電車)法の提出に向けて準備をしている。

■ところで11月19日のJR津山線の落石脱線事故の復旧に関しては、岡山市、岡山県、岡山県警とJR西日本との様々な問題が指摘されているが、このまま津山線の抜本的な安全対策がなされないまま再びこのような事故が発生すれば、廃線にさえ追い込まれる可能性もある。赤字ローカル線の保守安全対策を一体誰が中心でやるのかという問題提起がされている。

■JR西日本では、阪神大震災では都市部の黒字路線だったためすぐに復旧させたが、その後完全民営化で外国人株主が30%を越えており、赤字ローカル線については、保守費用のでない路線は廃止縮小せざるをえない状況になった。その上福知山線事故で高まった安全性論議の中、新型ATSの導入などで多額の安全対策の設備投資を必要としており、地方赤字ローカル線にまわす資金は減少している。岡山県北の姫新・芸備・因美の各線は実際の運行状態から見れば、既に半分廃止の状況になっている。岡山では山陽本線さえ赤字なのである。



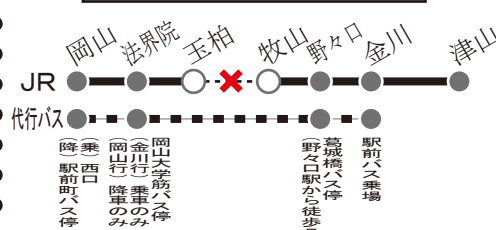
▲今回の落石による脱線事故はもはや一企業では防ぐことが出来ない  
企業・行政・地域の連携が必要である

■一方、吉備線のLRT化はこうした問題への一つの回答として提案された。都市部の鉄橋・トンネル・崖の少ない、つまり保守費用のかからない鉄道路線については、新幹線駅に旅客を運ぶというメリットがあるため、LRT化によって活性化を図るという方式が編み出された。今春開業の富山ライトレールは初年度黒字が見込まれ、岡山の吉備線においてもLRT化が計画されたのである。

■人生80年のうち、大学生までの20年と70歳以後の10年は車に乗れないのだから、公共交通は不可欠のもの。さらに地球温暖化対策など考えれば、鉄道やバスの路線はある程度残さなければならぬ。

■結局のところ「LRT法」も「(仮称)総合交通戦略法」も鉄道路線を実質的に施設整備と運営で上下分離にして、整備には公的資金をつぎ込み、未来の子供たちのために残そうというわけだ。公的資金に道路特定財源を入れれば、ある種の環境税にもなるという寸法だ。

津山線の運行と代行バスについて



●津山線：岡山～玉柏間・牧山～津山間で折返し運転  
●代行バス：岡山～金川間で、列車に合わせて運行(途中 岡山大学筋・葛城橋に停車)



# 変わる岡山のバス事情

半田山ハイツに行く岡電バス  
▼(半田山ハイツ南区~津高台団地中)

運転免許センターで発車待ち  
(岡山県運転免許センター) ▼



◀これら岡山駅を出発する日生・寒河行き  
(岡山駅①の5号)

RACDA かわら版連載コーナー  
「ぼっけえ便利なバスマップ」の

## 小さな旅

今月から来月にかけて変化が起きている。これからの岡山のバスはどうなるのか探してみる。

■今年の3月3日に「国道250号線・片上~寒河間を休止する」という告知が出されてしばらくは動きが見られなかったが、11月中旬に新聞等でこの件についての報道があった。

■宇野バスによる片上~寒河間の運行は11月末までとなり、12月からは備前市に本社を置く日生運輸(備前バス)が運行を引き継ぐこととなった。移管後も平日では1時間に1本の運行が保たれるほか、病院の玄関先への乗入れも行うとのこと。運賃面では今までの対キロ運賃制から均一運賃制に変わる他、1日乗車券の新設も予定されている。

■実際に宇野バスの同線に乗ってみたが、岡山から片上までは乗客がいるものの、片上を越えると乗客の人数もまばらとなる。決して利用されていない訳ではないが、これ以上の路線維持は困難という結論になったのだろう。

■今後はこれ以上の路線縮小とならないよう、いかに利用してもらうかを探る必要があるだろう。

▲寒河車庫で発車待ちをしている宇野バス  
すでに備前バスのポールが立っている(寒河車庫)

●平成15年4月のJRバス撤退以後、より激しさを増していた岡電バスと中鉄バスの路線競合問題が11月中旬に突然決着を見た。両社の社長がぼったり街中で出会った際に和解の方向で話が進んだようだ。

●これにより1月からは  
●岡山空港リムジンバスは2社共同運行  
●岡南方面で競合している労災病院、岡南飛行場線は岡電バスに一本化

●津高方面で競合している津高台団地、免許センター線は中鉄バスに一本化

●新保方面で競合している新保・万倍、新保北・泉田線は岡電バスに移管  
●にそれぞれ変わる。

●今後は各社が協調した、利用者  
●に使いやすい公共交通を提供して  
●くれることを願うところである。  
(松田和也)

## できるバス・消えるバス

### 12月の路線バスに関する変更の状況

宇野バス<国道250号線>  
片上~寒河間が11月30日で運行休止  
12月1日からは備前バスが運行

岡電バス・中鉄バス  
競合していた岡南方面・津高方面で運行会社の一本化  
来年1月から 岡南方面は岡電バス、津高方面は中鉄バス

●  空港リムジンバス  
● 1月から岡電・中鉄での共同ダイヤ化

●  JR津山線  
● 事故のため玉柏~牧山間が運行見合わせ中  
● 岡山~金川間で代替バスを運行  
● 運行ダイヤにご注意ください